

■特集「最新のリモートセンシング技術と地すべりの研究」の原稿募集

人工衛星による広範囲かつ高分解能の地表観測，ミリ単位で計測する精密衛星測位技術，そして計測・撮影機会数の大幅な向上と電磁波の処理技術や解析技術の向上があり，数年前とは比べものにならないほど人工衛星データの利用機会が増加しています。さらには，航空機・無人航空機にもレーザー測位システムや合成開口レーダー，多波長の分光センサーが搭載されるようになってきています。最近のリモートセンシング技術は，飛躍的に精密な地表変動の観測や広域的な水分・温度状態の分析を実現しています。さらに，同技術で取得されたデータのオープン化も国内外で進んでいます。このような状況の中で地すべりの観測・調査・予測において現在のリモートセンシング技術を検討に用いることはもはや必須になっています。本特集号では最新のリモートセンシング技術を中心に，その最新の研究，活用事例，成果，見解を広く特集として募集します。

○特集名：最新のリモートセンシング技術と地すべりの研究

英文：Deployment of cutting-edge remote sensing technologies in landslide research

○公募原稿のテーマ例：

- ① 人工衛星や航空機・無人航空機に搭載されたセンサー等による地すべり観測・調査の事例
- ② 同上のセンサーなどリモートセンシング技術を用いた地すべり観測技術の最新研究
- ③ リモートセンシング技術と他技術の組み合わせによる効果的な地すべりの調査・技術開発の事例
- ④ 地すべりを対象としたリモートセンシング技術の有用性の検討や精度などの試験結果
- ⑤ 地すべり研究におけるリモートセンシング技術活用の将来見通し，現状の課題を分析した総説

○募集原稿：論文，研究ノート，技術報告，総説

○発刊予定：第62巻4号（2025年7月発行予定）

○投稿申込み：2024年8月31日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

- ・申込みアドレス：post@landslide-soc.org
- ・メールの題名：特集号原稿申込（著者名）を記入
- ・申込み項目：題名，著者名，所属，連絡先住所，電話，メールアドレス，原稿種別，要旨（200字程度，添付ファイルとせず，本文に入れてください）

○原稿執筆

- ・執筆要項：学会誌第62巻1号または学会ホームページ掲載の執筆要領
- ・原稿締切：2024年11月30日
- ・原稿送付先：<https://www.editorialmanager.com/jls/>（Editorial Managerを利用した電子投稿とします）

なお，投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって，内容によっては通常号への掲載をお願いし，または掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。